

7 月 号

令和 2 年 7 月 1 日発行
 【発行者】〒168-8510
 東京都杉並区高井戸西 1-12-1
 社会福祉法人 浴風会
 発行責任者 京極 高宣
 TEL (代表) 03-3334-2101
<http://www.yokufuukai.or.jp/>
 【印刷所】株式会社サイド・ビー



本館前の紫陽花

訪問看護ステーションの 新型コロナウイルス感染症対応

公益財団法人日本訪問看護財団

常務理事 佐藤 美穂子



本財団は1996年の創設で、訪問看護等在宅ケアを推進するために、研修や研究、相談支援のほか4訪問看護ステーションを直営し政策提言等を行っています。このたびの新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、2月から12月までの集合研修はすべて中止せざるを得ず、Web研修への切り替えに取り組んでいきます。

を乗り越えようという前向きな姿勢を感じるようになっていきます(本財団調査)。

本財団では1996年の創設で、訪問看護等在宅ケアを推進するために、研修や研究、相談支援のほか4訪問看護ステーションを直営し政策提言等を行っています。このたびの新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、2月から12月までの集合研修はすべて中止せざるを得ず、Web研修への切り替えに取り組んでいきます。

一方、訪問看護師自身のメンタルヘルスへの影響もありました。当該感染症への恐怖心、感染防護具不足の不安、気分の落ち込みや疲労感などです。管理者はスタッフに健康や命を守る宣言をし、直行・直帰、時差出勤、自転車通勤、SNSやWeb会議による3密回避を実践しました。このような努力の結果、管理者はスタッフの感染管理に取り組む姿や周りへの気遣い、危機

2020年はナイチンゲールの生誕200年に当たり世界中が「Nursing now」のキャンペーンを実施している最中に当該感染症のパンデミックが起こり、キャンペーンは2021年6月まで延長することになりました。ナイチンゲールは衛生状態などの環境の大切さを統計で示し、自然治癒力を高める看護の覚悟を残しています。

新鮮な空気の大切さを今に受け継いだ英国では当該感染症者が30万人を超えています。このような姿をナイチンゲールはどう見ているのでしょうか。

訪問看護ステーションは在宅療養生活支援の専門家の集まりです。今こそ看護力を発揮して、健康な地域社会を取り戻すために貢献したいと思っています。(当会評議員)

令和元年度浴風会事業報告概要

本部署務局長 浅井 敏男

浴風会は「地域と共に未来を拓く」をスローガンとして掲げ、杉並区等の高齢者を対象に、医療・介護・福祉に係るサービスを総合的に提供し、その役割を果たしている。今期は、令和2年度から同6年度までの5年間の期間として、中期事業計画を策定した。

また、地域包括ケアの推進、自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスの実現などに取り組み他、法人の持続的な成長を可能とするための安定的な経営基盤の構築に取り組んだ。

そして、全職員が多職種協働で職務に邁進できる職場づくりを推進するため、完全週休2日制の導入、研修や福利厚生充実、ハラスメント防止対策の推進、働き方改革への対応などにも取り組んだ。年が明けての新型コロナウイルス感染症の拡大は、高齢者サービスを提供する当会としても、万全な対応をせまられたが、全施設・全職員を挙げての感染防止対策の励行により、利用者及び職員等の感染者の発生を抑えることができた。

第1 地域貢献活動の取組み推進

地域に根差した様々な貢献活動を実施した。

- ① 地域の高齢者の居場所づくりなどを目的とするカフェ事業
- ② 認知症介護の家族会である「よくふう語ろう会」の開催
- ③ 高井戸団地での無料健康相談事業
- ④ 『浴風会つながるフェスタ2019』
- ⑤ 『浴風会無料公開シンポジウム』の開催

第2 利用者中心のサービスの提供

老人福祉事業においては、食事の提供、健康・衛生管理、感染症予防、機能訓練等を進めるとともに、利用者の要望等への的確な対応、生活環境の向上等を図る他、他施設も参加できるクラブ活動等の情報を共有化することにより、利用者の選択肢を拡大し、交流の促進に努めた。

病院事業においては、医療安全、感染症対策、防災対策等の安全管理を適確に推進し、また、医療相談・支援、地域連携、在宅支援を積極的に進めた。その他、利用者・患者等からのサービスに係る苦情については、各事業部門が迅速かつ適切な対応に努めた。

介護保険事業においては、サービスマナーの向上、看取り介護の推進と医療連携ケアの向上、リスクマネジメントの徹底、口腔機能維持・経口摂取維持の推進等を図った。また、家族の医療ニーズを確認しつつ、浴風会病院及び他の医療機関との連携を図る他、食事の提供、健康管理、衛生管理、感染症予防、機能訓練等を進めた。

第3 着実な事業実施のための経営基盤づくり

安定的な経営基盤を確保するため、経営資源（人、物、財、組織）に係る諸課題の検討や充実、整備に取り組んだ。

1 質の高い人材の確保

介護職員、看護職員の確保が厳しい状況下、人材確保対策推進本部が中心となって、総合的、体系的な人材確保対策や職員定着のための職場環境改善方策の検討に取り組んだ。検討は、採用要件の整理、労働時間の見直し、職員の処遇改善等について行っ

た。

(1) 採用活動の実施

看護師、リハビリ職、介護福祉士等の養成校に対して、郵便あるいは直接訪問して学生紹介の依頼を行うとともに、サイトへの求人情報の掲載及び登録者への個別メール発信を行うなど、重層的、継続的な採用活動を実施した。

なお、就職時の助成金・職員紹介協力金の拡充等の整備など採用活動の一助とした。

(2) 登用試験の実施

優れた人材の確保を目的として登用試験（主として介護職契約職員の正規職員化）を2回実施した。

また、介護福祉士国家試験の受験に際し、実務経験3年以上の他に必要となる「実務者研修」の受講費用貸付制度についても継続して実施し、職員の資格取得を支援した。

(3) 職員研修及び福利厚生の充実

職員の研修は、職階、経験等に応じたキャリア別研修や、時宜を得たテーマによる職員全体研修を計画的に実施するとともに、職員実践・研究発表会を開催して職員の資質の向上に努め、各事業部門においても、リスクマネジメント研修、中途職員の採用研修、院内研修（病院看護部）の実施などに積極的に取り組んだ。

また、法定の福利厚生施策を推進する他、職員親睦会への助成も行うなど、多角的に魅力ある職場づくりを推進し、「よくふう保育園」（事業所内保育所・定員15名運営・東京家庭学校）の設置によって、職員並びに地域の子育て支援に努めた。

(4) 労働安全衛生の推進

看護・介護スタッフの腰痛予防対策、ストレスチェック制度を中心とする総合的な

メンタルヘルス対策の実施など、職場における職員の労働安全衛生の推進を図った。

(5) 障害者雇用、外国人雇用の推進

今年度の障害者雇用は障害者法定雇用率の達成に努めた結果、法定雇用率（2.2%）を0.1%上回る結果となった。

外国人雇用については、介護技能実習生をミャンマー連邦共和国より2名を10月から南陽園で受入れた。

2 堅実な財務運営基盤の形成

各事業部門が、自部門の強み、弱みを分析し、収支のバランスがとれた堅実な財務運営基盤の形成に努めた。

(1) 計画利用率の確保・達成

各事業部門において、計画利用率等の達成に向けて努力したが、病院事業、老健事業、通所系介護保険事業でマイナスの収支となった。

(2) 新規事業等の検討

企画開発本部が中心となって、杉並区の整備計画や近隣からの要望（不動産の活用紹介）について検討を行った。

(3) 財政等の将来見通し

各施設は、設備機器の経年劣化に対応するための計画的な修繕等が必要な時期となっており、資金計画を含めた将来見通しについて、中期事業計画中で具体的に計画策定を行う方向性を定めた。

(4) 情報公開の推進

ア 法人情報の開示

（独法）福祉医療機構が構築した「財務諸表等電子開示システム」によって、法人の運営状況及び財務状況に係る情報を開示している。

イ 視察者・ボランティア等の積極的受入れ

地域に開かれた法人・施設運営を推進す

令和元年度 決算報告

6 月 18 日に開催されました当会理事会及び 6 月 29 日開催の定時評議員会において、令和元年度決算が以下のように承認されました。

(1) 貸借対照表の要旨 (令和2年3月31日現在)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	2,000,590	流動負債	979,671
固定資産	11,144,395	固定負債	3,313,040
		負債の部合計	4,292,711
		基本金	506,033
		国庫補助金等特別積立金	5,188,052
		その他積立金	1,190,483
		次期繰越活動収支差額	1,967,706
		(当期活動収支差額)	(△254,872)
		純資産の部合計	8,852,274
資産の部合計	13,144,985	負債・純資産合計	13,144,985

(2) 総合資金収支計算書 (令和2年3月31日現在)

区 分		収 入 額	支 出 額	収支差額
社 会 福 祉 事 業	養護 浴風園	469,812	469,488	324
	軽費 松風園	342,599	341,949	650
	軽費 ケアハウス	154,484	174,033	△ 19,549
	老人福祉事業計 (a)	966,895	985,470	△ 18,575
	特養 南陽園	1,165,214	1,162,591	2,623
	特養 第二南陽園	709,656	707,819	1,837
	特養 第三南陽園	1,073,298	1,073,262	36
	南陽園在宅サービスセンター	39,517	39,169	348
	第二南陽園在宅サービスセンター	82,401	89,196	△ 6,795
	グループホームひまわり	109,024	108,784	240
	ヘルパーステーション	60,398	58,520	1,878
	介護保険事業計 (b)	3,239,508	3,239,341	167
	浴風会病院	2,917,405	3,117,662	△ 200,257
	老健くぬぎ	618,036	625,671	△ 7,635
	認知症介護研究研修センター	283,535	283,503	32
	本部経常部	212,350	211,282	1,068
	社会福祉事業合計 (c)	8,237,729	8,462,929	△ 225,200
公 益 事 業	地域包括支援センター	52,451	52,412	39
	居宅介護支援事業所	29,160	28,889	271
	よくふう保育園	39,802	41,702	△ 1,900
	ケアスクール	21,117	21,093	24
	公益事業合計 (d)	142,530	144,096	△ 1,566
収益事業 (e)		16,527	15,177	1,350
総 計 (c+d+e)		8,396,786	8,622,202	△ 225,416

第 4 各事業部門の取組み

1 法人本部事業

完全週休 2 日制の導入、ハラスメント対

る見地から、視察者（313 名）、ボランティアは、延べ 1 万人を超える支援を得た。ウ広報推進会議の運営
法人としての一体化した広報計画の下に、歴史や理念、実施事業の現状や方向性等を迅速、適切に発信するなどして、法人の透明性を高めるとともに、今年度は特に法人ホームページの全面リニューアルのため作成検討チームを編成し、アクセス者からの見易さ、分かり易さ等の利便性の向上を主として検討し、今年度末に完成することができた。

2 高齢者保健医療総合センター事業

1) 浴風会病院事業

今年度は前年度と比して入院、外来とも大きく下回る結果となった。
地域包括ケア病棟運用管理を徹底し長期入院患者は減少し、入院単価は改善したが、地域の医療機関からの入院患者の受入れが思ったように進まなかったため、病床稼働率が落ち込む結果となった。なお、無料低額診療事業の推進の一環として、杉並区社

3 老人福祉事業

養護老人ホーム等においては、虚弱化に伴う入浴・配食・排泄・転倒防止などの身体介助、認知症の進行や精神疾患に伴う見守り、金銭管理や服薬管理、利用者間トラ

会福祉協議会のくらしのサポートステーションと協働し、生活困窮者自立支援制度に該当する（生活保護には非該当）低所得者の支援を新たに開始した。
2) 老健施設及び通所リハビリテーション事業
充実したリハビリテーション体制を基に、短期集中リハビリテーションの強化、入所・短期入所・通所の相互の連携に取り組み、在宅生活への総合的な支援体制強化に努めた。

4 介護保険事業

介護保険事業においては、事業計画に沿って事業を推進し、利用者のサービス向上及び目標達成に努めた。
特別養護老人ホームにおいては、利用者の入院等により 2 施設は目標利用率に及ばなかったが、杉並区、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所との連携により、空床利用の緊急ショートステイを積極的に受け入れた。

5 地域サービス事業

在宅の高齢者が住み慣れた地域で最後まで安心して暮らせるよう、支える人、支えられる人への相談事業やサービス提供事業の連携を強化し、地域包括ケアシステムの構築を目標にして、在宅の高齢者への支援に取り組んだ。

6 認知症介護研究・研修東京センター事業

認知症介護研究・研修センター全国運営協議会及び同センター合同研究成果報告会を東京センターが主催し、各センターの運営を巡る諸問題について検討するとともに、研究成果の報告を行った。
国の認知症政策の推進並びに認知症ケアにおいて急務となっている課題の解決やその基盤整備に向けて研究を実施するとともに、認知症介護指導者等の研修事業、認知症介護情報ネットワークの運用等による広報・普及・啓発事業を推進した。

浴風会の動き (6 月)



【本部事務局】

4日 「会計監査人による監査」。
11日 「労働組合 団体交渉」。
18日 「第1回理事会」開催。「令和元年度事業報告・決算」、「施設長の人事」について承認されました。
29日 「6月定時評議員会」開催。「令和元年度決算」について承認されました。(浅井)

幹部職員人事(令和2年7月1日付)

異動

本部事務局 財務部長 小原 英嗣

(浴風会ケアハウス園長)

昇任

浴風会ケアハウス 園長 中澤 雄一

(病院事務局次長)

浴風会病院 事務局次長 多胡 岳志

(本部事務局職員課長)

採用

本部事務局 参事 小河 芳弘

本部事務局 人事部長 赤坂 浩

浴風会ケアスクール

Cafe オレンジリボンウッド

介護の基礎から学べる資格「介護職員初任者研修」7月28日開講〜11月7日。(火曜日、全13回と修了式)の受講の申し込みを受け付けております。ご興味のある方は、お気軽にお問合せください。

定期的に開催しております、「よくふう語ろう会」(第2水曜日)と「Cafe オレンジリボンウッド」(第2月曜日、第4金曜日)は、新型コロナウイルスによる感染拡大予防のため、当面開催を中止とさせていただきます。(鈴木)

【老人福祉事業】

浴風園 (養護老人ホーム)

15日 梅雨に入り、新型コロナウイルスの影響により、今月もイベント・クラブ活動等を中止しています。例年より外出する機会も大幅に減りました。浴風園では、『座つてのラジオ体操』のポスターを全居室に配布し、1日1回、定時にラジオ体操の放送を、各お部屋に流す試みを始めました。新しい習慣になればと思います。



みを始めました。新しい習慣になればと思います。

4呼吸×4回=16呼吸



(徳増)

松風園 (軽費老人ホーム)

23日「サロンレク(作品作り)」開催。江戸の昔、海より出でし、疫病退散の妖怪アマビエ「私の姿を絵にかいて、見せれば疫病が治まるでしょう」その伝説にちなみ、アマビエだるまを作り、早く新型コロナウイルスが退散し、平穏な日々が訪れますように！松風園有志一同で祈願いたしました。(宮中)



浴風会ケアハウス

5月29日 開園24周年記念日で、枝豆ご飯・お刺身・天ぷら・ローストビーフ等のお祝い膳とケーキをお出ししました。感染症防止対策で前後半制で45分とし、例年の賑わいはありませんでしたが、彩りよいお料理に、笑顔も見られ、美味しかったです。

8・9日 ほっと二息カフェを開催、有名洋菓子店のメロンシークリームをお出しし、とても好評でした。

24・25日 感染症対策で延期していた2月・3月の誕生会を行いました。(尾瀨)

【介護保険事業】

南陽園 (特別養護老人ホーム)

21日 「フルーツバイキング」開催。綺麗に飾られたフルーツの盛り合わせの中から好きなものを選び、美味しく戴きました。



新型コロナウイルスの影響で自粛

南陽園在宅サービスセンター

(認知症対応型通所介護)

梅雨の中休みのある日、夏に因んだ言葉を使った「ビンゴ大会」を行いました。

まずは、「夏」から思い出す言葉を挙げていき、そのなかからマス目のなかに自分の好きな言葉を書きます。その後は、くじのように言葉のカードを引いてタテ・ヨコ・ナナメに揃ったらビンゴ!!「ゆかた」「花火」のほか、「うなぎ」「ビール」「枝豆」などの言葉が続き、夏が待ち遠しくなるひとときでした。(鶴間)

★各事業のお問い合わせは随時行っておりますので、お気軽にご連絡下さい。

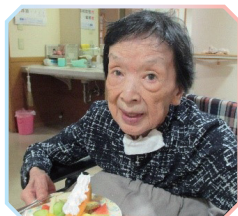
◎電話 03-3334-2743 (鶴間・工藤)

第二南陽園 (特別養護老人ホーム)

8日 「フルーツバイキング」開催。今年は、第二の園庭のあんずも食べ頃だったので、栄養士が収穫し提供させていただきます。

17日 「タッキング★カフェ」開催。今回は「チョコレートムース」「チーズケーキ」「あんずティー」を





作りました。参加された皆さんでチーズケーキの焼き上がり待ちながら、次回作りたいおやつなどを相談しました。

6月も、新型コロナウイルス感染防止のため、外出支援やボランティアによる活動は中止させていただいていますが、折り紙や書道等のレクリエーションを実施し、ご利用者に楽しんでいただけるよう工夫をしています。



第三南陽園 (特別養護老人ホーム)

10日「フルーツバイキング」開催。第三南陽園にて「お楽しみ会」を行いました。いつもは各フロアにてそれぞれ趣向を凝らした行事を行っていますが、今年は全フロアでフルーツバイキング会を行いました。大皿にふんだんに盛り付けた季節のフルーツを自由に選んでいただき、そこに生クリームやチョコレートを好きなよ

第二南陽園在宅サービスセンター

(通所介護、介護予防通所介護)

第二南陽園在宅サービスセンターでは、引き続き6月中も大きな行事を中止・延期しておりますが、以前の賑わいが少しずつ戻って参りました。ソーシャルデイスタンスに注意しつつ、楽しいデイサービスを目指しております。

★見学申し込みやデイサービスへの質問やお問い合わせは随時受け付けています。
03-3334-2140

うにトッピングしてご利用者の方々に召し上がっていただきました。生フルーツジュースやフルーツゼリーもご用意させていただきました。「こんなに食べていいの?」「美味しいわね!」毎日やってください!」ご利用者の方々にも大好評で、とりわけメロンが一番大人気!笑顔が溢れる1日となりました。

グループホームひまわり

11日「らっきょう漬け」を行いました。



た。「甘酢」「塩」「味噌」の3種類の味に漬け込みました。皮をむいて、根っこを切る下準備を「昔はよくやったわね」と話しながら、手際よくやりました。

19日「梅干しづくり」を行いました。

熟して黄色くピンクがかった「完熟梅」をみて「わあ大きい!立派な梅ね。」と話されながら、1つ1つ丁寧に竹串でへたを取り除き、焼酎を振りかけ、塩、梅干しを交互につけて重石をしました。梅雨明けを待ち、3日間天日干しを行います。出来上がりが待ち遠しいです。



【地域サービス事業】

地域包括支援センターケア24高井戸

昨年度から取り組んでいる『上高井戸端』プロジェクトが、6月24日に団



体としての設立総会を三密に配慮し開催しました。新型コロナウイルスのため地域活動ができない事態の中でそれぞれが色々考える機会にもなっていました。地域の中で情報を共有できる仕組みや身近な場所顔で顔を逢わすことの大切さをあらためて実感しました。

積極的な活動は今のところ展開できませんが、まずは、会の事を知ってもらうため、この時期だからこそできることを実行していくことにしました。活動に興味をもたれた方は、是非、一報下さい。

杉並区地域包括支援センター
ケア24高井戸
電話 03-3334-2495

◎電話 03-3334-2495

【病院事業】

浴風会病院



面会制限の緩和について

①入館に際しマスク着用の上、検温及びアルコールによる手指消毒のご協力をお願いいたします。

②7月1日より休日も含めた面会制限の緩和を行います。事前にお申し込みをいただいた方に限り、少人数・短時間でご面会いただけます。詳しくは浴風会病院ホームページ、院内掲示または電話でお問い合わせください。

新型コロナウイルス感染症の今後の発生状況によっては、再度面会禁止とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

ご迷惑をおかけいたしますが、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

(中澤)

◎予約電話 浴風会病院
03-3332-6511 (代表)

老健くぬぎ (介護老人保健施設)

24日 2階のご入所者で6月生まれの方を対象に誕生日会を行い、おやつ、時間にケーキを提供しました。

老健くぬぎにある中庭で、6月上旬にカルガモが2羽ふ化しているのを見つけました。職員が設置したプールでかわいい子ガモが泳いだりして、元気に育っています。近隣の池や川に引越すするまで、もうしばらく見守っていきたいと思います。

入所部門ともに新型コロナウイルス感染症予防対策として、3密(密閉・密集・密接)を避けるため、ご利用者が集合しての行事等を自粛しております。なるべく早く感染状況が落ち着くよう事業所内の感染予防に努めて参ります。

新型コロナウイルス感染症予防対策としての面会制限を、事前予約制として一部解除しております。詳細はホームページなどでご確認ください。

★入所・デイケア・ショートステイご利用のご相談はお気軽にご連絡ください。
03-5336-7701 (代表)
03-5336-7734 (入所)
03-5336-7704 (デイケア)

【研究・研修他】

認知症介護研究・研修東京センター

8日 東京センター運営会議 (Zoomで開催)

6/1より通常勤務となりました。外壁等工事は終了しました。(富島)





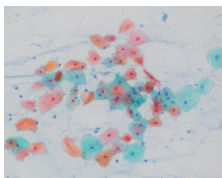
浴風会病院～病理検査とは～

病理検査科 病理副主任 小沼 久喜



病理検査は、一般の方にはやや馴染みが薄いかもかもしれませんが、採取された臓器や組織・細胞を詳細に観察し診断を行うものです。当院では、昭和大学医学部臨床病理診断学講座のご協力により①細胞診検査、②病理組織検査、③病理解剖の三つの業務を行っております。

図 1

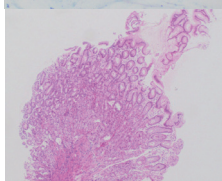


① 細胞診検査 (さいぼうしんけんさ)

喀痰・尿などの細胞をスライドガラスに塗布し、染色 (パパニコロウ染色) を行い、顕微鏡で悪性細胞の有無を検査します。

(図 1) 喀痰細胞診標本

図 2



② 病理組織検査 (びょうりそしきけんさ)

内視鏡検査などで採取した組織を薄切しスライドガラスに貼り付け、染色 (HE 染色など) を施し、顕微鏡で観察して病気の原因を調べます。

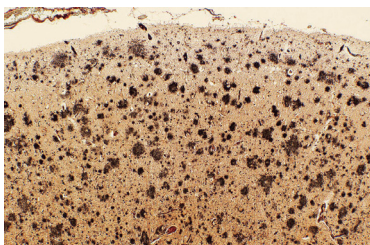
(図 2) 内視鏡生検標本

③ 病理解剖 (びょうりかいぼう)

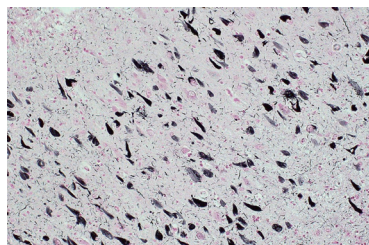
患者様が不幸にして病気で亡くなられた場合、ご遺族の承諾のもとでご遺体を解剖させていただき、死因および生前の病気の状態を明らかにして、診断・治療など医療内容の妥当性を検証します。

当院では昭和 2 年に病理解剖を開始して以来、6000 人を超える方々にご協力いただき、老年医学の発展に貢献してまいりました。CT・MRI などの検査技術が発達した現代でも、例えば種々の認知症疾患 (アルツハイマー病、レビー小体型認知症、嗜銀顆粒型認知症など) の診断を確定する上で、脳の病理学的検索はきわめて重要な役割を担っています。また、病理解剖で得られた貴重な知見は、他施設 (大学病院など) との共同研究を通じて医学の進歩に役立てさせていただいております。

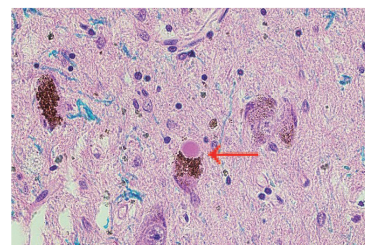
図 3



(図 3) 老人斑
(大脳皮質、アルツハイマー病)



神経原線維変化
(海馬、アルツハイマー病)



レビー小体
(黒質、レビー小体型認知症)

病理医の指導の下、今後も病理検査を通じて地域のご利用者に安全・安心の医療を提供すべく取り組んでまいります。ご質問などがございましたらお気軽にお問い合わせください。

ご芳志

令和 2 年 5 月 16 日から 6 月 15 日

多くの方々よりご芳情をいただきました。
ありがとうございました。

〈金品・物品〉

宮沢 郁子様、高田 敬輔様、
丑久保 勝仁様、

第一生命保険株式会社 新宿総合支社様
株式会社ドリーム・ブレイン様

● ほか、各施設にもいただいております。

【ご意見をお寄せください】

〒168-8510 ※住所なしで届きます

機関紙「浴風会」編集部係

sounu2@yokufukai.or.jp

<http://www.yokufukai.or.jp/>

お知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、浴風会病院及び各施設におきましては面会の一部制限を行っております。また、会内レストラン (第三南陽園、ケアハウス) の一般利用者のご利用を控えさせていただいております。詳しくは各施設へお問い合わせください。

